

全国保育問題研究協議会 第34回夏季セミナー

「今こそ子どもたちに平和なあしたを」

In 広島

2017年8月26日(土)、8月27日(日)

<http://www.zenhomon.jp>

平和とはどのようなものを指すのでしょうか？

“へいわって なあに、だいすきな おかおを おもう とき” “へいわって なあに、おかあさんに だかれて あったかい みんな そうだと いいね” “へいわって なあに、みんながちがって いいえがお あなたは あなたのままで いい”…これは絵本作家トッド・パールさんによる『ピース・ブック』（童心社）の中の言葉です。まさに「平和の心」そのものと言えましょう。

幼い子どもにとって平和教育は難しい、早すぎるものなののでしょうか？

平和を愛する心を育む平和教育は、子どもの誕生の瞬間から始まるものです。おとなに愛されているという安心感や自己肯定感が育まれること、自分の思いを表現すること、仲間と話し合うこと…これらすべてが平和の心を育てることにつながります。平和の心は日常生活・保育の中で培われるのです。日常の保育を平和の視点から捉え直してみるところから、乳幼児期の平和教育のはじめの一步は踏み出されます。——このことを平和教育分科会（1988年第27回全国保問研集会にて発足）では、繰り返し確かめながら実践を積み上げてきました。

「平和教育」をテーマにした夏季セミナーはこれまで、1992年広島（第9回）、2002年京都（第19回）で開催され、今回が3回目となります。今年は日本国憲法施行70年の節目の年です。この平和憲法に基づく戦後日本の国のあり方が根底から覆されようとしている今、「二度と核戦争を起こしてはならない」という人類の未来への警告を発信し続ける国際平和都市ヒロシマで、再びセミナーが開催される意味は大きいと考えます。

平和とは、単に戦争のない状態（「消極的平和」）だけでなく、戦争を生み出すもととなる貧困、差別、失業、虐待などのない、人権が守られている状態（「積極的平和」）を指すものです。この平和観に立って、子どもと保育と社会の今を見つめ、この時代を生きるおとなとして平和のために出来ることは何かを学び、語り合っていきましょう。たくさんのご参加をお待ちしています。



記念講演

「2017年夏—いま、平和のために何ができるか？～ヒロシマから考える～」

難波健治 （日本ジャーナリスト会議広島支部代表幹事 / 広島修道大学非常勤講師）

1 日 目

- 12:50～ オープニング 広島保問研のみなさん
開会挨拶 セミナー実行委員長：石川秀子
全国保育問題研究協議会代表：西川由紀子
- 13:15～ 基調提案 分科会運営委員：黒川久美
- 13:45～ 記念講演 「2017年夏ーいま、平和のために何ができるか？」
- 15:30～ 実践提案 広島保問研、沖縄保問研、静岡保問研
- 17:35～ 語り部 広島被爆者団体協議会

※1日目は、18:30に終了予定です。

記念講演 「2017年夏ーいま、平和のために何ができるか？～ヒロシマから考える～」

難波健治（日本ジャーナリスト会議広島支部代表幹事 広島修道大学非常勤講師）

核兵器禁止条約の交渉がこの春、国連で始まった。直後に米国がシリアを攻撃し、朝鮮半島に緊張が走っている。米軍が北朝鮮を攻撃したらどうなるか。いまほどヒロシマの役割が問われるときはない。戦争か、平和かー被爆国・日本もその岐路にあり、私たちの意思と行動が、世界の行方を決めるといっても過言ではないからだ。

実践提案 高陽なかよし保育園：宮本知佳、田中嘉子
(広島保問研)

実践提案 ガジマル保育園：伊佐みなみ
(沖縄保問研)

「子どもたちと伝える平和」

年長たいよう組は、去年に続いて平和について学びました。誕生日に「あなたが生まれた日」メッセージを保護者に書いてもらい、子ども達の前で読むと、本当に幸せそうです。

オバマ大統領が広島を訪れた時は核兵器について話しました。保育園を代表して千羽鶴を平和公園にもって行き平和学習をします。その事を伝えたいと絵本を作りました。卒園を前に、いっぱい話し合って、2冊目の絵本を作りました。「戦争になったらどうなるの？・平和だけど友だちとケンカしちゃう・友だちの気持ちに気付いているかな？」などみんなの思いを絵に、うたに、ことばに込めて卒園式で伝えました。

「運動会までの取り組みを通して」

当園では、沖縄慰霊の日がある6月を平和について学ぶ月として数多くの実践を行っています。昨年は、『へいわってすてきだね』の絵本の読み聞かせを行い、運動会でのリズム表現の取り組みにつながりました。

その中で、異年齢間の関わり合いから子ども同士が信頼関係を築いていく姿や保育者と子ども達の間で共に過ごす安心感から自己肯定感が育まれるなど子ども達が成長していく姿が見られました。

この実践を通じて保育者間では平和教育について考えあいました。

実践提案 こぐま保育園：上條桂子 (静岡保問研)

「一人ひとりが、生活の主人公になれる自治集団をめざして～『ぞうれっしゃがやってきた』と過ごした3年間～」

3歳児クラスの担任になり私がまず感じた事は、全体的にまじめで気持ちの固い子が多いということでした。まずは、思いっきり遊ぶことを大切に、山や川や土手に出かけ、うたをいっぱい歌ってきました。なかでも「ぞうれっしゃよはしれ」は大好きなうたの一つでした。

突出したリーダーがいない集団だったからこそ「ちいさなぼくたちでも ころろひとつにすれば」という歌詞が、子どもたち一人一人の心に響いたのかもしれない。卒園までの3年間、子どもたちと『ぞうれっしゃがやってきた』を通して、自分を表現することを楽しみ、一人一人が生活の主人公として育ち合った記録です。

語り部 17:35～18:30 広島被爆者団体協議会

原子爆弾の被爆者は高齢になりましたが、再び被爆者を作らないために、自らの体験や平和の思いを語り伝えています。

2日目

Aコース	9:10～11:00	碑めぐり	国際会議場前集合	定員80名
Bコース	9:30～11:00	講座①	「世界の中の平和教育」	
Cコース	9:30～11:00	講座②	「子どもの貧困と平和」	
総括集会	11:10～11:55			
閉会	12:00			

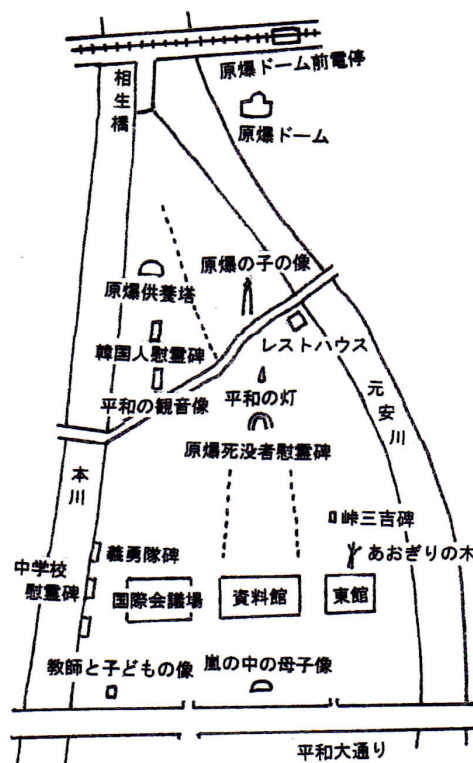
Aコース 碑めぐり 9:10～11:00

広島被爆者団体協議会

広島平和記念公園のある地域は、かつて賑やかな街並みと市民の暮らしがありました。爆心地に近い街と人々は崩れ燃え尽きました、その後平和記念都市建設法によって公園になりました。遺跡として、大正時代に建てられた産業奨励館が原爆ドームに、大正屋呉服店がレストハウスになって残されています。

街の住民や、建物疎開に動員された近郊の人々や、学徒動員の中学生たちの遺族は、被爆したゆかりの場所に慰霊碑を建てました。その他にも1円募金で建てられた嵐の中の母子像、朝鮮半島出身者の慰霊碑、白血病で亡くなった少女をモデルにした原爆の子の像、などなど沢山の碑があります。

被団協の人が案内します。現地でいくつかの遺跡・碑を巡りヒロシマの心を感じて下さい。



Bコース 講座① 9:30～11:00 世界の中の平和教育(オメップ:世界幼児教育・保育機構)

藤井 修 (京都保問研)

OMEPIは、0～8歳の子どもの権利を守る目的で「教育分野の知見を国際化することが人類の平和の礎になる」と合意し、1948年に創設されました。UNESCO、UNICEFに代表を送るNGOです。

「質のよい保育・幼児教育の保障」を目標に掲げ、70か国の国内委員会と実践・研究交流をしています。保育は「世界の平和を作るパスポート」と訴えています。

Cコース 講座② 9:30～11:00 子どもの貧困と平和 小西祐馬 (長崎大学)

戦争がもたらした貧困は、戦後、解決に向かってはいたはずでした。しかし、ここ20年ほどでふたたび深刻化し、「再発見」されるに至っています。保育現場でも貧困は徐々に「見えて」きています。なぜこうなったのでしょうか。いまを生きる子どもたちに、社会はどのように見えているのでしょうか。子どもたちの目線から、貧困と平和について考えてみたいと思います。

申し込み方法

- ☐ 参加費 7,000 円 (学生 3,500 円)
- ☐ info@zenhomon.jp にメールで申し込みしてください。
受付期間 6月9日 (金) ~ 8月18日 (金)
複数人まとめても可能です。止むを得ずFAXの場合は、03-3818-8026にお願いします。
申し込みから一週間以内に受付番号と振り込み方法等の返信をいたします。
(先着順です。定員になり次第、締め切ります。パソコンメールなどの拒否設定をはずし、必ず受付番号や振り込み方法等の返信をご確認ください。)
- ☐ 申し込みの際には、以下の記載をお願いします。
 - ① 名前 (フルネーム) *複数人申し込みの場合は代表者に印をつけ、全員の名前を記入
 - ② 連絡先 (携帯可) *連絡先が職場の場合は職場名も記入
 - ③ 都道府県 (各地域保問研に所属の方は保問研名を。学生の方は大学名を記入して下さい。)
 - ④ セミナー二日目の希望を記入
 - A) 碑めぐり 定員80名 ※ご参加の方は熱中症予防のため飲み物や帽子などをご持参下さい。
 - B) 講座「世界の中の平和教育」
 - C) 講座「子どもの貧困と平和」
- ☐ 宿泊は、各自でご手配ください。
* 名鉄観光広島支店で宿泊予約ができます。全国保問研夏季セミナーの申し込みである旨を伝え、各自で連絡をしてください。

名鉄観光広島支店 TEL : 082-227-2281 E-mail : takashi.kaneda@mwt.co.jp

- ◎ 申し込みメール info@zenhomon.jp
- ◎ 問い合わせ 全国保育問題研究協議会 事務局 TEL/FAX 03-3818-8026

会場：〒730-0811 広島県広島市中区中島町1-5 広島国際会議場 会議運営事務室 (平和記念公園内)

交通案内

バス

広島駅南口 A-3から吉島方面行き
「平和記念公園」下車すぐ

市内電車

広島駅南口 西広島・江波・宮島行き
「原爆ドーム前」下車 徒歩10分

飛行機

広島空港からリムジンバス
広島バスセンター下車 徒歩15分

船

広島港から広島駅行きバス 中電前下車 10分

